

大阪市立 長吉出戸 小学校



正面の2本のフェニックスが印象的な学校の外観です。子どもたちの登下校や、来校者の門は、この正門1つしかなく、オートロックとインターホンで、安全対策に取り組んでいます。



住所 〒547-0011 大阪市平野区长吉出戸 3-1-43

連絡先 ☎ 06-6707-8500

☎ 06-6799-0339

校長 井上 泰志

開校 昭和 48 年度

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751737>

教育目標

「学ぶことに喜びを持ち、心豊かな、たくましい子どもを育てる」

教育方針

「よく学び 仲よく 元気に」

運営に関する計画

【中期目標】「学ぶことに喜びを持ち、心豊かな、たくましい子どもを育てる」

【安全・安心な教育の推進】

○ 心豊かな子どもを育てる

- ・ 互いを思いやる子どもを育てることにより、「楽しい学校づくり」をする
学校アンケートの項目において、児童対象「学校に行くのが楽しいですか」、保護者対象「お子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか」で、肯定的な回答が85%以上になるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ ICT の教育環境を充実させる

- ・ 学習者用端末を積極的に使わせる
学校での学習活動や家庭学習において、学習者用端末を使った活動を工夫して積極的に使わせ、活動回数を増やしていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 基礎・基本の定着を図り、達成感を味わえる子どもを育てる

- ・ 国語科・算数科の理解力を高める
今後の「全国学力・学習状況調査」や、「大阪市学力経年調査」の平均正答率や無解答率について、全国や大阪市との差を縮める（令和3年度との比較）

○ 健康な体をすすんでつくる子どもを育てる

- ・ 体育の学習を工夫して実施し、運動能力を高める
今後の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、全国や大阪市の平均を上回る種目数を増やすとともに全国や大阪市の体力合計点の平均を上回るようにする（令和3年度との比較）。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
 - ・ 豊かな心を育む体験的な学習活動を積極的に取り入れる。
 - ・ 違いを認め合い、互いの立場や気持ちを考え合えるような集団を育成する。
 - ・ 日常的に情報交換し、児童理解を深め、取り組みを検討する。
 - ・ 不登校・遅刻の多い児童などの実態の解消に向け家庭へ働きかける。
 - ・ 異学年交流を活性化する学習活動を積極的に取り入れる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の35%以上にする。【ただし、事務局が定める学校行事等 ICT活用が適さない日数を除く】
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準Ⅰを満たす教員の割合を60%以上にする。
 - ・ 児童の発達段階や学習場面に応じて、学習者用端末を有効に活用する。
 - ・ 教職員の意識を更に高めるとともに、業務における校務支援システムの活用を工夫することで、業務の集中や偏りを解消していく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を38%以上にする。
- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
 - ・ 主体的・対話的で深い学びを実現するため、互いの考えを出し合い協働して考えを深め、広げる学習場面を多く設定する。
 - ・ 国語科における読解力を中心とした思考力・判断力・表現力等を育成するため、教員の授業力向上を図る。
 - ・ 算数の基礎学力向上をめざし、計算力を鍛える取り組みを行う。
 - ・ 児童が体を動かすことが好きになるような機会を設定する。
 - ・ 毎日朝食をとる習慣を身につけさせるように指導する。

校長先生からのメッセージ

本校は、「よく学び 仲よく 元気に」の校訓を教育理念とし、昭和48年に創立されました。創立以来、「学ぶことに喜びを持ち、心豊かな、たくましい子どもを育てる」を教育目標に掲げ、教育活動に取り組んでいます。教育には、「不易」と「流行」の2つの面があります。国際化・情報化など社会の変化に対応できる能力を習得させるのは「流行」の部分ですが、相手を思いやり、相手の立場に立って行動できる態度を育てていくことは、いつの時代にも変わらない教育の「不易」の部分です。これら双方の能力・態度を身につけた子どもを育てていくために、全教職員で邁進しています。社会の変化に対応できる力を身につけさせるためには、まず、「読む・書く」力や、「計算」力などの基礎学力が必要になります。そのうえで、豊かなコミュニケーションを実践するための理解力・思考力を高めていきます。そこで、今年度は、国語科の指導に特に重点を置き、研究を進めてまいります。

校長 井上 泰志

R5年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
71	65	平均正答率(%)

●結果と概要／

国語科は、全国平均を上回った。学習内容では、「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」が全国平均を大きく上回ったが、「読むこと」は全国平均をわずかに下回った。算数科も、全国平均を上回った。領域では、すべてで全国平均を上回った。児童質問紙では、いじめを許さない意識は高かったが、自己肯定感に関わる質問に対する肯定的な回答は全国平均を下回った。

●取組の成果と課題／

【国語】 令和4年度からの本市施策の学力向上チーム支援事業におけるスクールアドバイザーの指導による校内研究活動(国語科)の充実により、授業力の向上を図られてきた。しかし、図表やグラフ等を用いて、考えが伝わるように書き表し方を工夫することは課題である。

【児童質問紙】

全学級で、特別の教科道徳の時間やいじめアンケートを通して、学期に1回以上いじめについて考える機会を持ったり、人権教育を計画的に実施したことで、児童のいじめに対する意識が高まった。

また、学校司書や区の図書館と連携して、児童のニーズに合った書籍を図書館にそろえたり、10分間読書の時間を設け学級図書を月ごとに入れ替えて児童の読書に対する意識を高めた結果、家庭での読書習慣が身につけてきている。

しかし、総合的な学習の時間等を使って体験的な学習活動を積極的に実施しているが、児童の自己肯定感や自己有用感は十分に向上しているとは言えない。

【算数】 チームティーチング等による個別最適な指導の工夫を継続してきた結果、着実に成果が現れている。しかし、「図形」領域での記述問題や、百分率の理解やデータ活用には課題も見られる。

R5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.71	16.32	28.68	34.21	35.50	9.42	149.71	18.61	47.18
女子	15.78	15.19	33.53	34.69	32.03	9.41	142.19	11.29	50.45

●結果と概要／

男子・女子ともに、50m走が全国平均、大阪市平均を上回った。立ち幅とびは、全国平均には届かなかったが、大阪市平均を上回った。しかし、他の種目、及び体力合計点は、男子・女子ともに、全国平均、大阪市平均を下回った。

児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目については、男子は肯定的な回答が92.8%、女子は肯定的な回答が81.2%で全校平均、大阪市平均と概ね同じぐらいであったが、「やや好き」を除き「好き」と答えた児童は男子が57.1%(全国72.1%、大阪市73.0%)、女子が53.1%(全国54.5%、大阪市52.9%)で男子がやや低かった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子14.2%(全国9%、大阪市10.5%)、女子25%(全国16.3%、大阪市18.2%)で、全国、大阪市に比べ、やや多かった。

●取組の成果と課題／

令和5年度は学期に1回、子どもたちが運動を親しむことができるように、運動週間を設けた。1学期に「More run週間」、2学期に「なわとび週間」、3学期に「かけ足週間」を設け、朝や昼休みなどを活用して、学校全体で取り組んできた。これらの取り組みにより、運動に対して肯定的な回答をする男子児童は、前年度に比べやや増えている(昨年度:男子88.9%、女子81.5%)。

また、令和5年度については、全体的に全国平均、大阪市平均をやや下回っているが、50m走については、全国平均、大阪市平均を上回ったのは、運動週間に取り組んできた結果であると考えられる。今後も継続して取り組んでいくことが大切であると考えている。

学校の特徴

本校は、1年生が1学級、2年生から6年生が2学級、全校で子どもの数が約270人の中規模程度の小学校です。

子ども達は、素直で明るく、人懐っこい子が、たくさんいて「楽しい学校」です。

校舎配置・教室配置はわかりやすく、エレベーターが設置され、バリアフリーで移動できます。

管理作業員をはじめ、教職員が「安心・安全な学校」となるように、校内の整備・美化に努めています。

体験活動

各企業・団体が実施する出前授業等に積極的に応募し、ゲストティーチャーとして来校していただき、子どもたちに多様な体験をさせています。

子どもたちは、教室で教科の学習をしている時は違った顔を見せ、また、新たな知識も身につけることができます。

- ・芸術鑑賞「狂言」
- ・明治・カルビー「食育」
- ・ダスキン「お掃除教室」
- ・大阪市水道局「水道教室」
- ・天王寺動物園「移動動物園」
- ・車椅子体験
- ・サントリー「水育」
- ・落語体験
- ・トップアスリート「夢・授業」(セレッソ大阪)など

委員会活動

健康 給食 新聞・掲示 運動
図書 放送 環境 運営・代表

クラブ活動

運動A 運動B 室内運動 まんが
科学・工作 室内遊び・昔遊び

広い運動場

子どもの人数のわりに、広い運動場で、体育の学習時間や、休み時間に、思い切って体を動かして、体力づくり・仲間づくりに励んでいます。

日当たりがよく、改修工事をしたので水はけがよく、雨が降っても、すぐに運動場を使うことができます。

